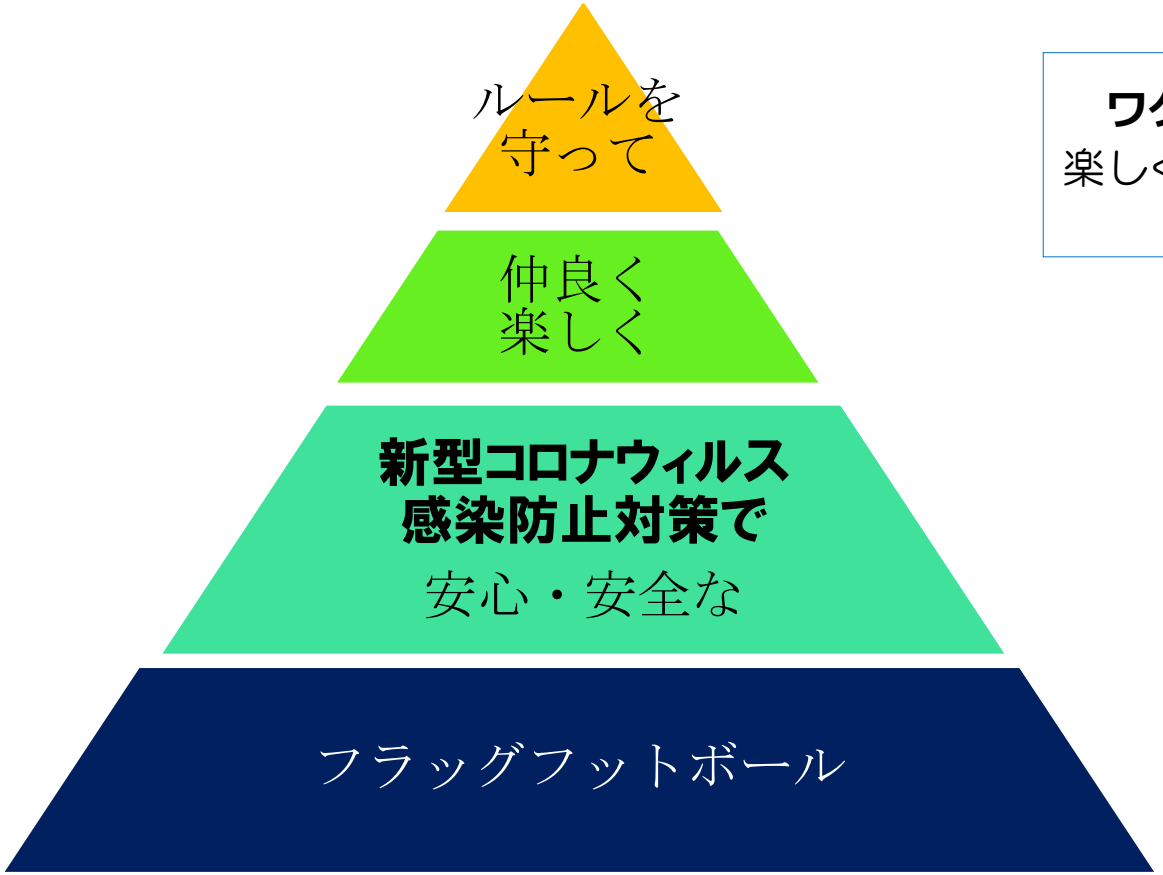
ワクワク、キラキラ☆

令和４年度

楽しい　フラッグフットボール！



ワクワク するね
楽しくプレーしよう！

話し合って決めた
作戦を使うよ！

みんなで
キラキラ 輝くよ☆

川崎市立小学校
巡回教室用

フラッグフットボールの魅力

言語活動の充実
コミュニケーション能力を高める
「動きの言語化」＝「話し合い」

◎ 自分の考えを相手に伝える

◎ 相手の話をよく聞く

◎ みんなで作戦を考える

ルールを工夫して
易しいゲームを楽しめる

◎ ボールを持っている子と
　　ボールを持たない子が活躍できる

◎ 役割（ポジション）を変えて
　　だれでも得点できる楽しさを味わえる

◎ だれでもゲームに進んで取り組める

◎ 仲良く、楽しく活動できる

◎ 文科省　言語活動の充実に関する指導事例集より

コーチ達の共通指導　「 PATROL 」

Process「結果ではなく、経過を重視しましょう」

結果を評価するのではなく、経過を重視しましょう。

Acknowledgement「承認しましょう」

プレーヤーの意思を尊重し、その行動や言動を認めることが重要です。
自分の存在を認められることが、プレーヤにとって大きな励みになります。

Together「一緒に楽しみ、考えましょう」

Respect「尊敬しましょう、尊重しましょう」

年齢、性別に関係なく、すべての人を尊敬しましょう。

Observation「よく観察しましょう」

体調は万全か、悩み事はないか。見ていなければわかりません。「見られている」ことでプレーヤーは安心します。

Listening「話をよく聴きましょう」

自分が話すより、プレーヤの話を聴く時間を多くとりましょう。指導者が「なってほしいプレーヤー」ではなく、プレーヤー自身が「なりたい」自分を意識し、気づかせるためには、プレーヤー自身にたくさん話す機会を作ってあげましょう。

フラッグフットボールを
やさしく、わかりやすく、親切、丁寧に教えてくれる
素敵なコーチの皆さん

まっちゃん

ホッピー

ブチャー

かきぴー

ナカヨッシー

いなか

ボス

クラッチー

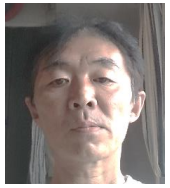
オカベチー

マツ

ジュン

ハッピー

モリモリ


ミッチー

マーティン

きいちゃん

しばちゃん

ロック

よっしー

かいゆー

やまちゃん

テケ

児童の感想より

- ◎わかりやすい言葉で親切に丁寧に教えてくれた。
- ◎楽しかった、もっとやりたい。
- ◎褒めて（認めて）くれて嬉しかった。
- ◎笑顔で接してくれたのでコーチと楽しく話せた。
- ◎初めてのスポーツだから失敗はOKと安心させてくれた。

ルールの解説

巡　回　教　室

攻撃3人 対 守備2人

藤子・F・不二雄 ミュージアムカップ

1～4年生の部　3人　対　3人

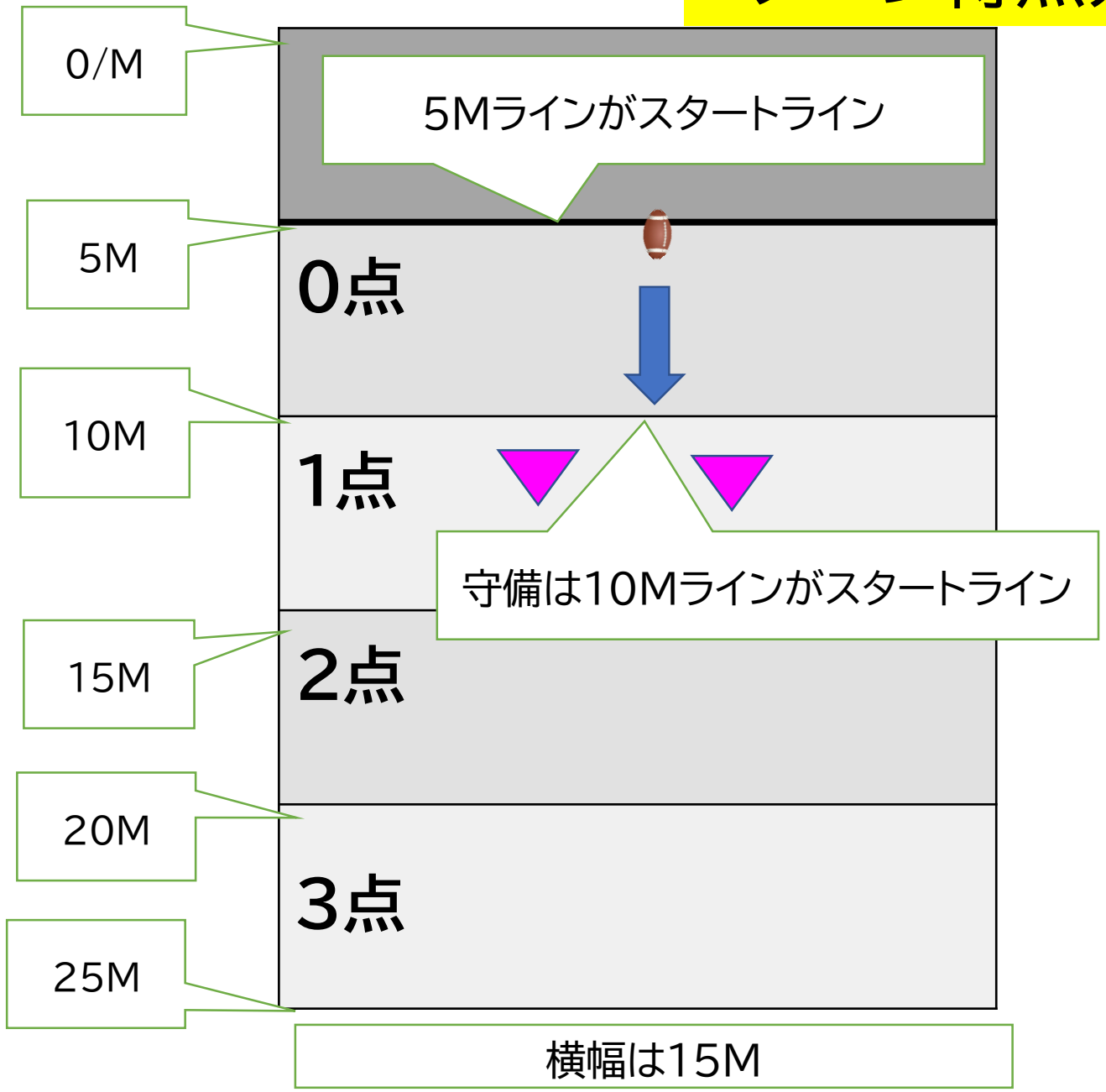
1～6年生の部　4人　対　4人

センタースナップ　で　プレー開始

ボールの先端を地面につける

センターの頭はスタートラインから出ない

ゾーン得点方法



5Mラインの中央にボールをセットしてゲーム開始

攻撃側が守備側にフラッグを取られた場所(ゾーン)が得点

攻撃と守備の合計点数で勝敗を決める

得点方法　巡回教室は原則　6回まで

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
先攻チーム	0	1	2	3	2	1	9
後攻チーム	2	2	0	1	2	3	10

ルール

◎フラッグフットボールでは相手と接触をしないように努めます。

◎攻撃側選手は、守備側選手を避けて動きます。

◎守備側選手は、スクリーンブロックをしている攻撃側選手を避けて動きます。

攻撃

◎ センタースナップでQBがボールを落としたら0点。
◎ 攻撃側はスタートしたらスタートラインの内側には戻れません。
◎ 攻撃側のプレーヤーは7秒以内にスターラインを超えないと反則。
◎ スタート後、ボールを落としたり、手のひらと足の裏以外が地面に着いたら、プレー終了

守備

◎ ボールキャリアのフラッグが取られた時は腰の位置が得点です。
◎ 守備はセンターのスナップ後、スタートできるがスタートラインの中のゾーンには入れません。

パスのルール

◎ パスはキャッチできず落としたら **0点** です。
◎ パッサーは(パスを投げる人)スタートラインを超えて投げる、踏んで投げると反則。また、スタートラインを超えてから内側に戻って投げたら反則。

◎ 特別ルール　パスは難しいため**0点ゾーン**でパスキャッチできたら**1点**獲得。

◎ パッサーはスタートライン内側のコート内で**7秒以内**どこからでもパスはできます。
◎ 守備は空中にあるボールをはたき落とせば **0点**。
◎ インターセプト(空中にあるボールをキャッチ)して相手の陣地にフラッグを取られないで運べば**3点**獲得。

巡回教室で使用するボールの例

巡回教室で使用するフラッグの例

タオル地のフラッグ
ベルトはソケット型

化学繊維時のフラッグ
ベルトはマジックテープ

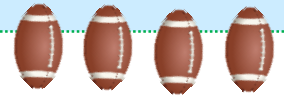
１回目の指導

約５分間

挨拶・自己紹介

フラッグ は 児童数

ボールは最低4個



フラッグフットボールとは

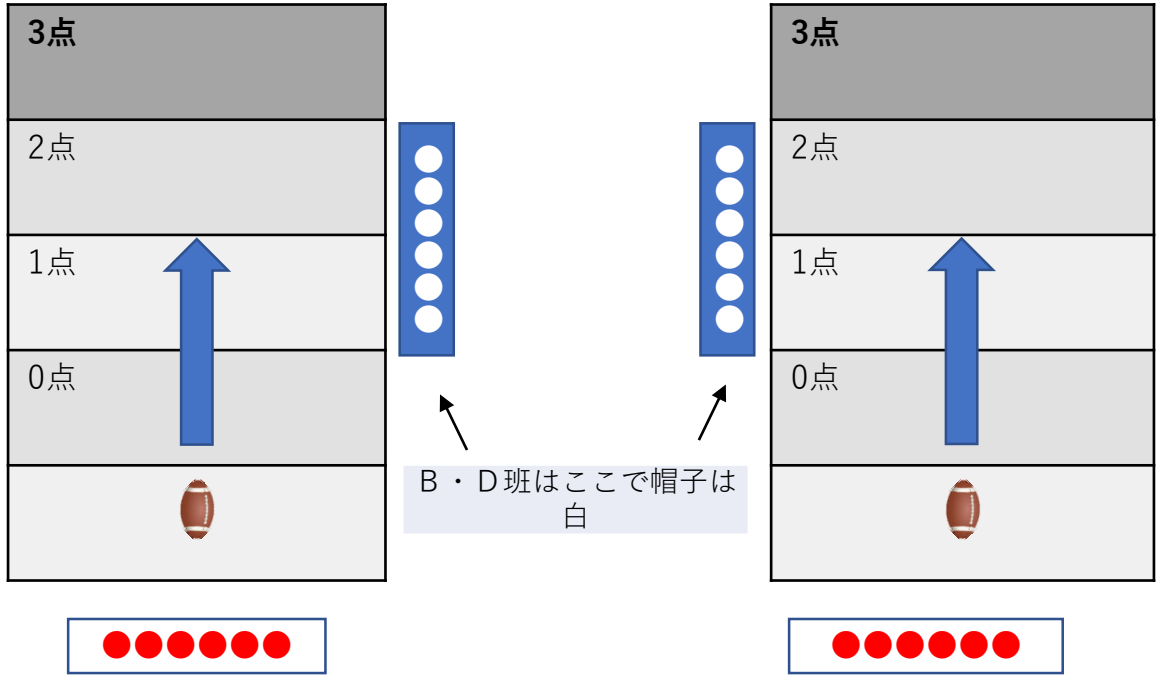
◎ アメフトのルールを工夫して、誰でもが楽しめる鬼ごっこ
（話し合って作戦を立てるからスーパー鬼ごっこ）
◎ 守りはボールを持っている人のフラッグを取る
◎ 攻撃も守備も身体接触を避ける
それでもぶつかったらお互いに　ごめんね

フラッグの装着と安全確認

◎ シャツ・イン
◎ フラッグは真横
◎ ベルトのカチャはおへそ
◎ 余ったベルト巻き込む

新フラッグの
装着方法は別

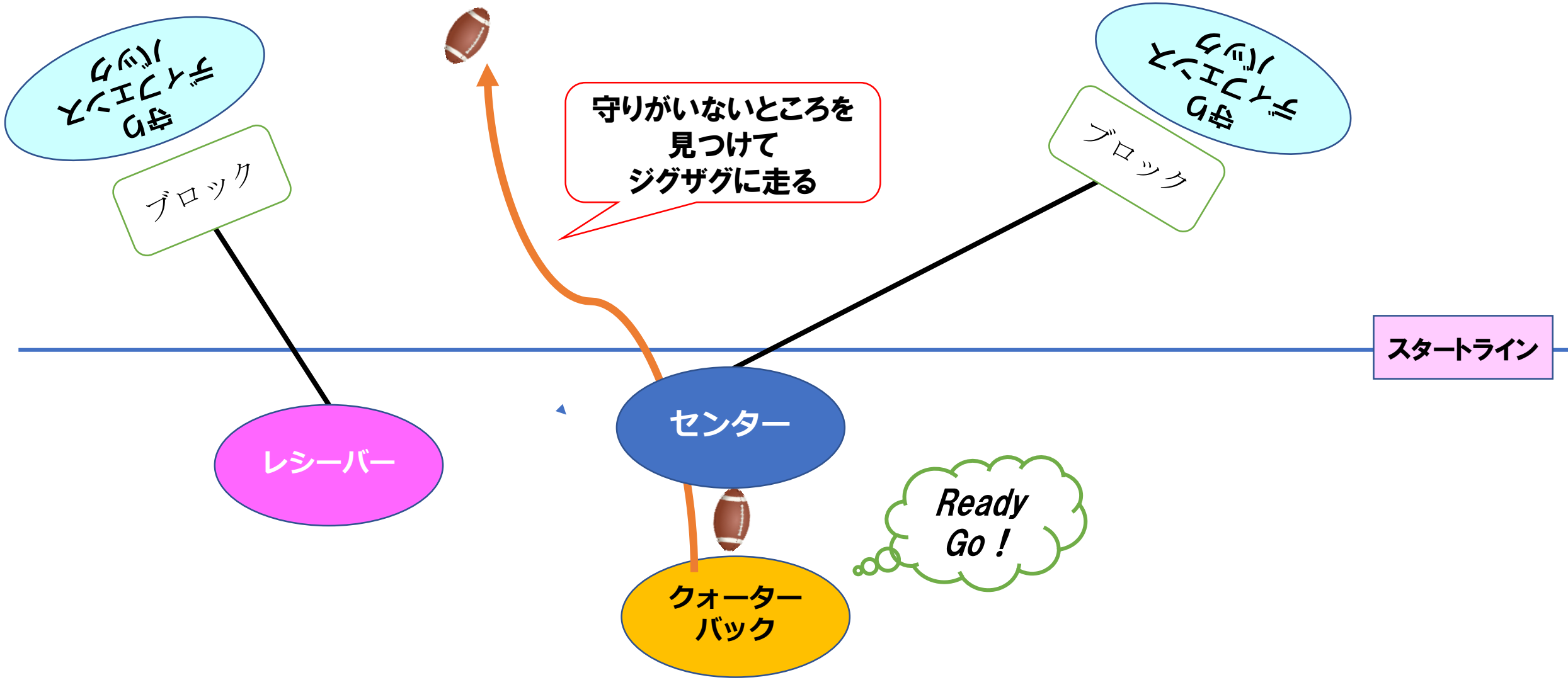
練習場所の確認



３．４年生１回目の指導

約５分間×２回

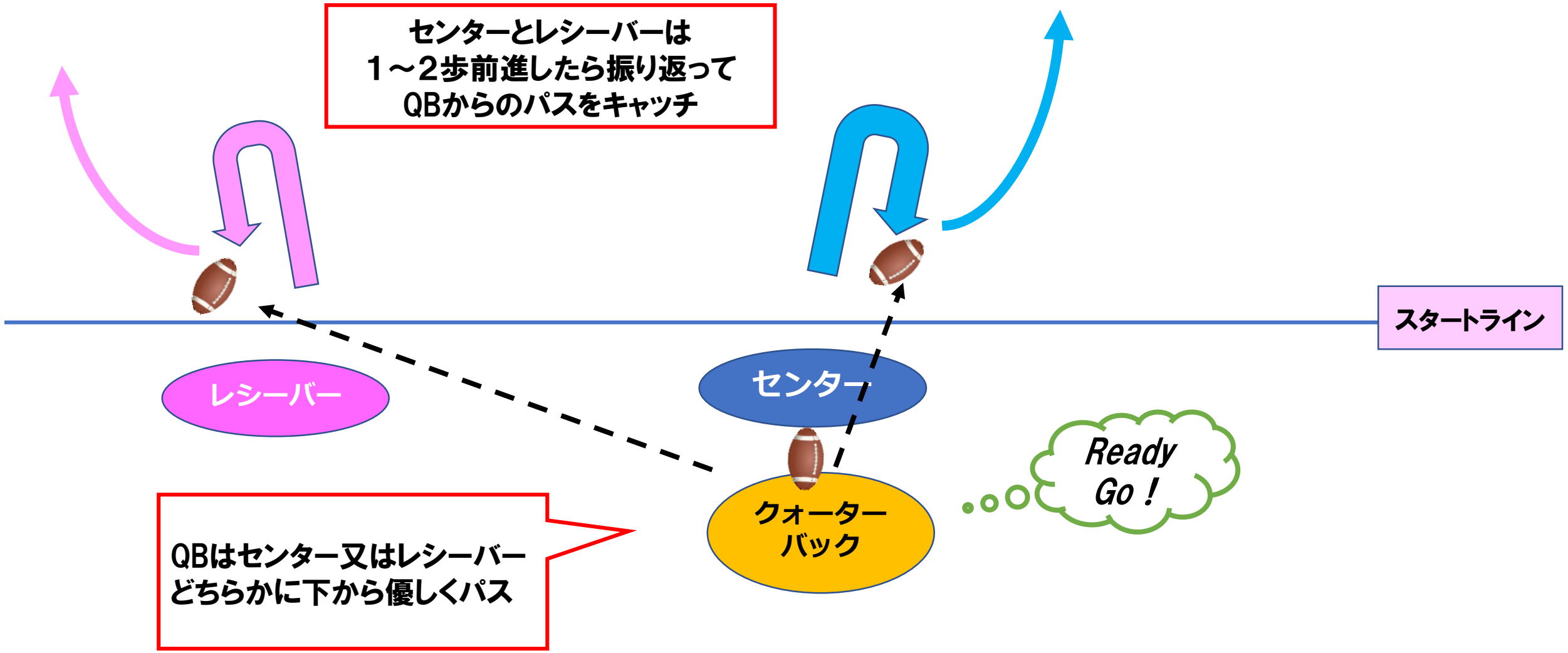
Ｗ　ブロック作戦



３．４年生１回目の指導

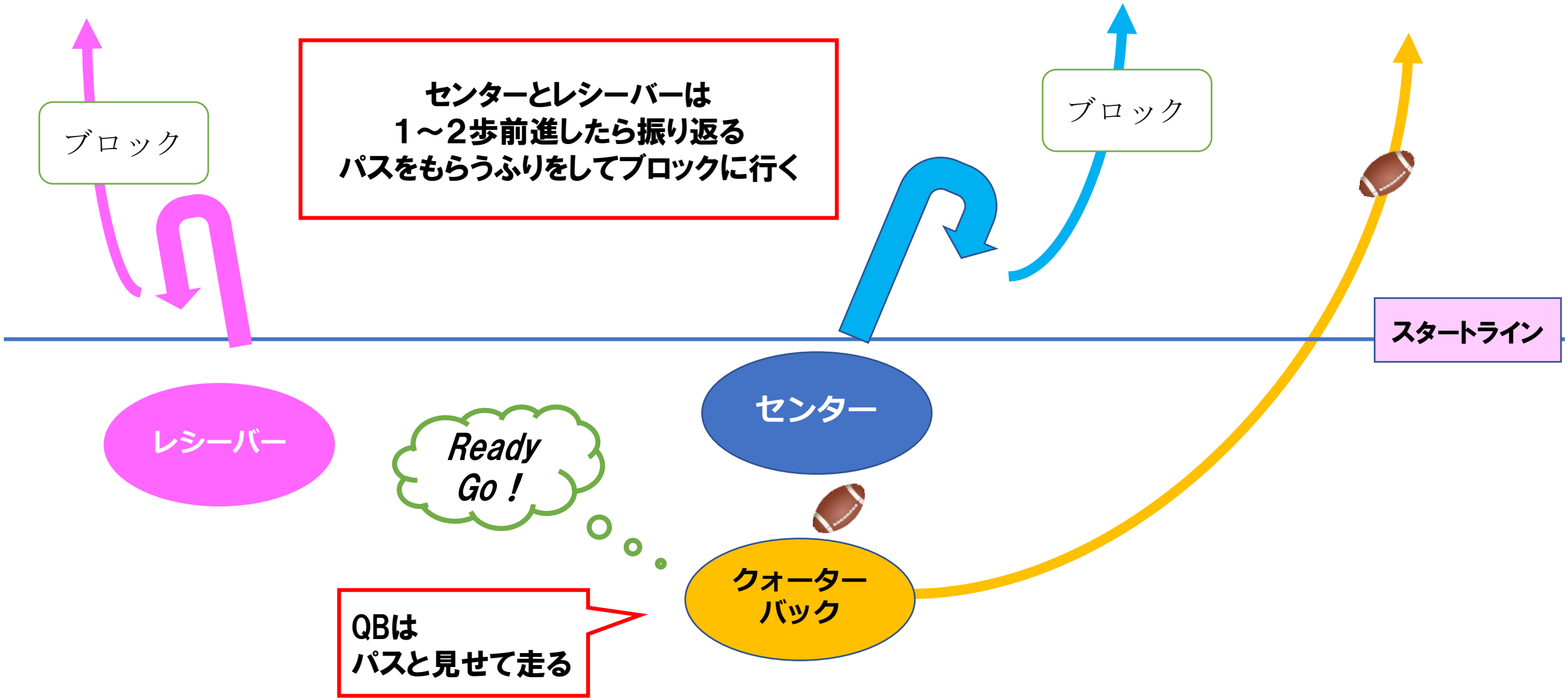
約５分間×２回

パス作戦



応用・試合で使ってね！

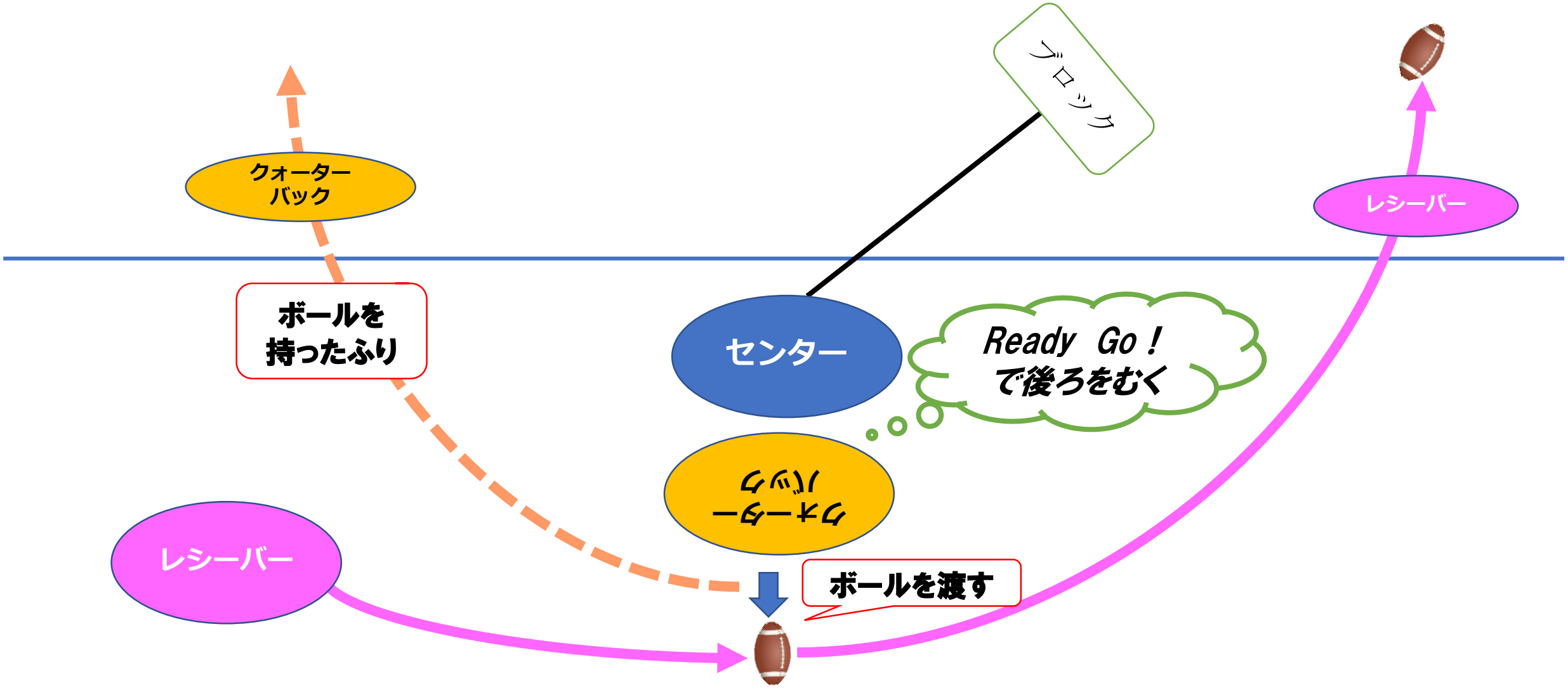
パスと見せて　QBが走る



４年生２回目の指導

約５分間×２回

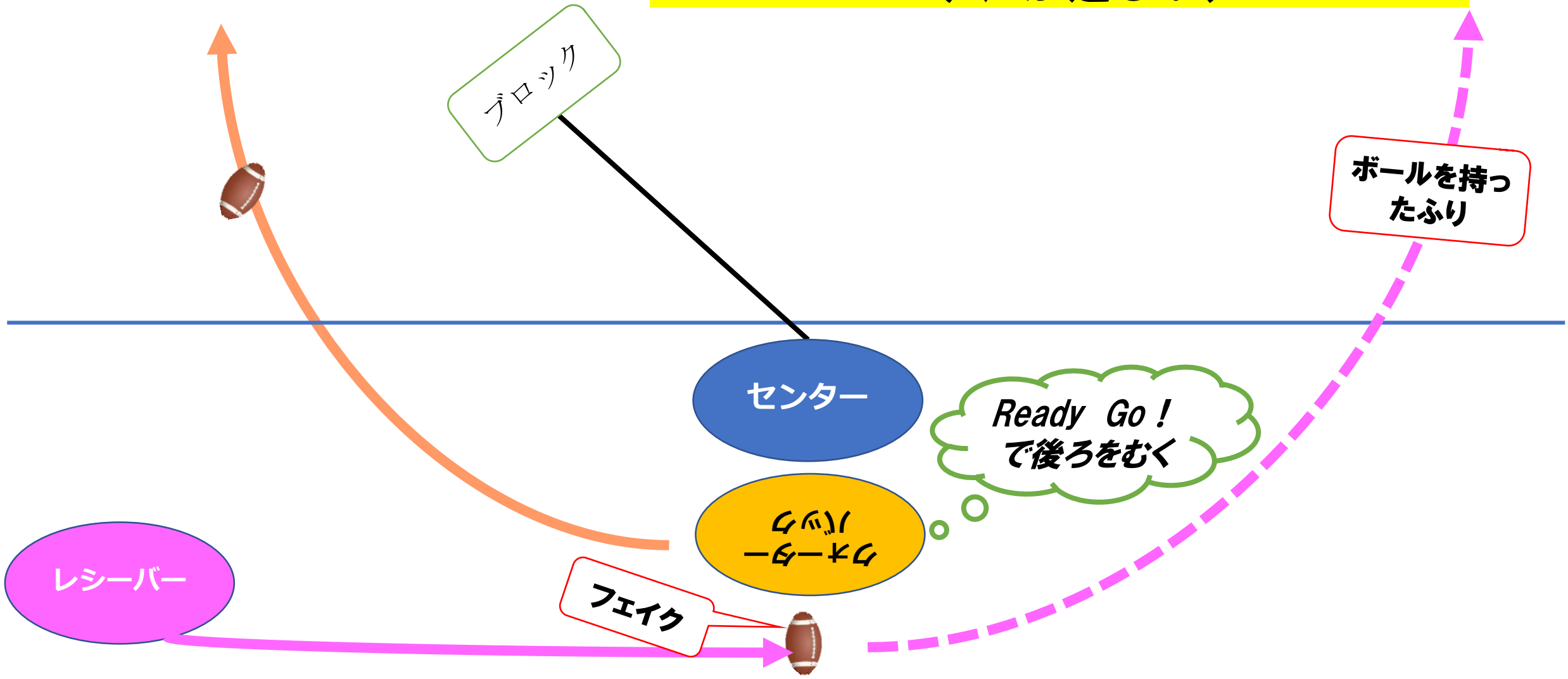
わたすか、わたさないか作戦
（レシーバーが走る！）



４年生２回目の指導

約５分間×２回

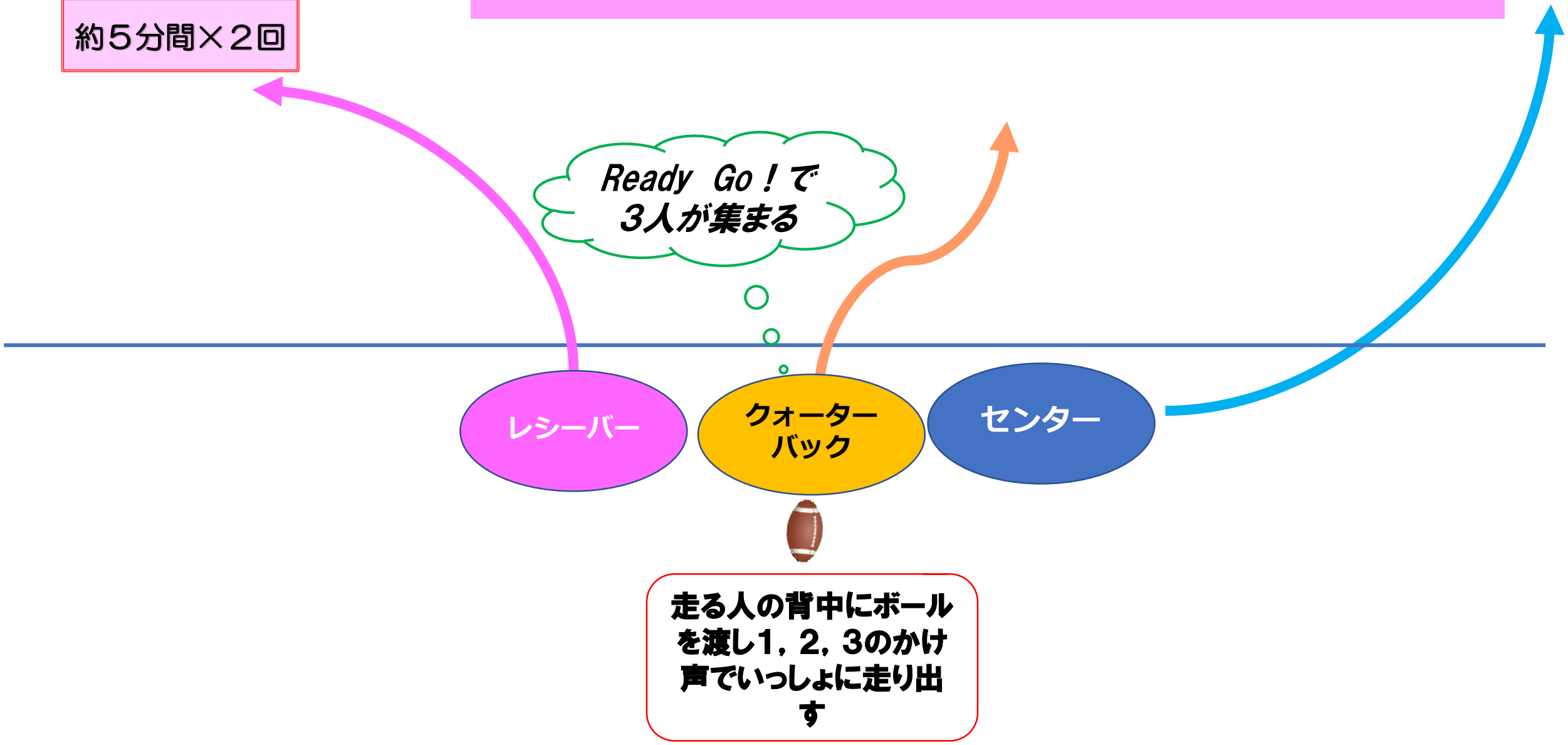
わたすか、わたさないか作戦
（QBが走る！）



３年生２回目の指導

約５分間×２回

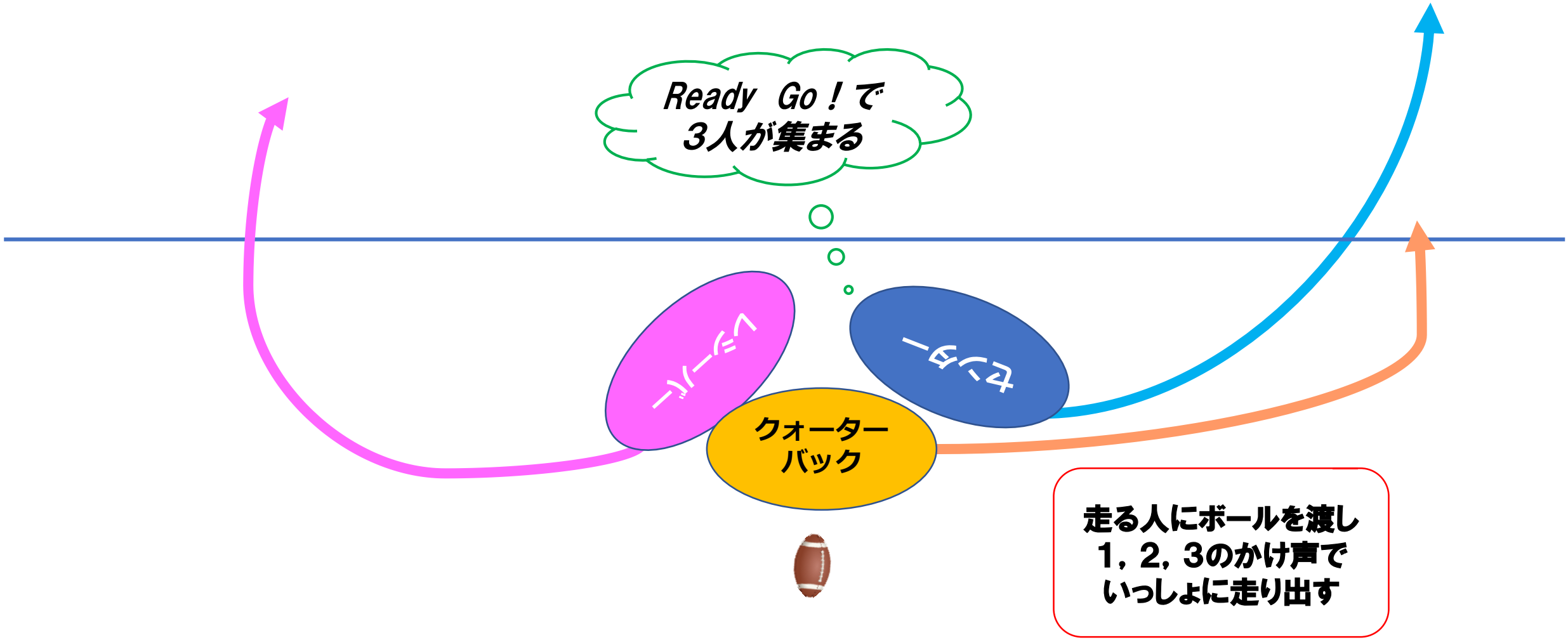
かたまり作戦　その１（ボールは背中にかくす）



３年生２回目の指導

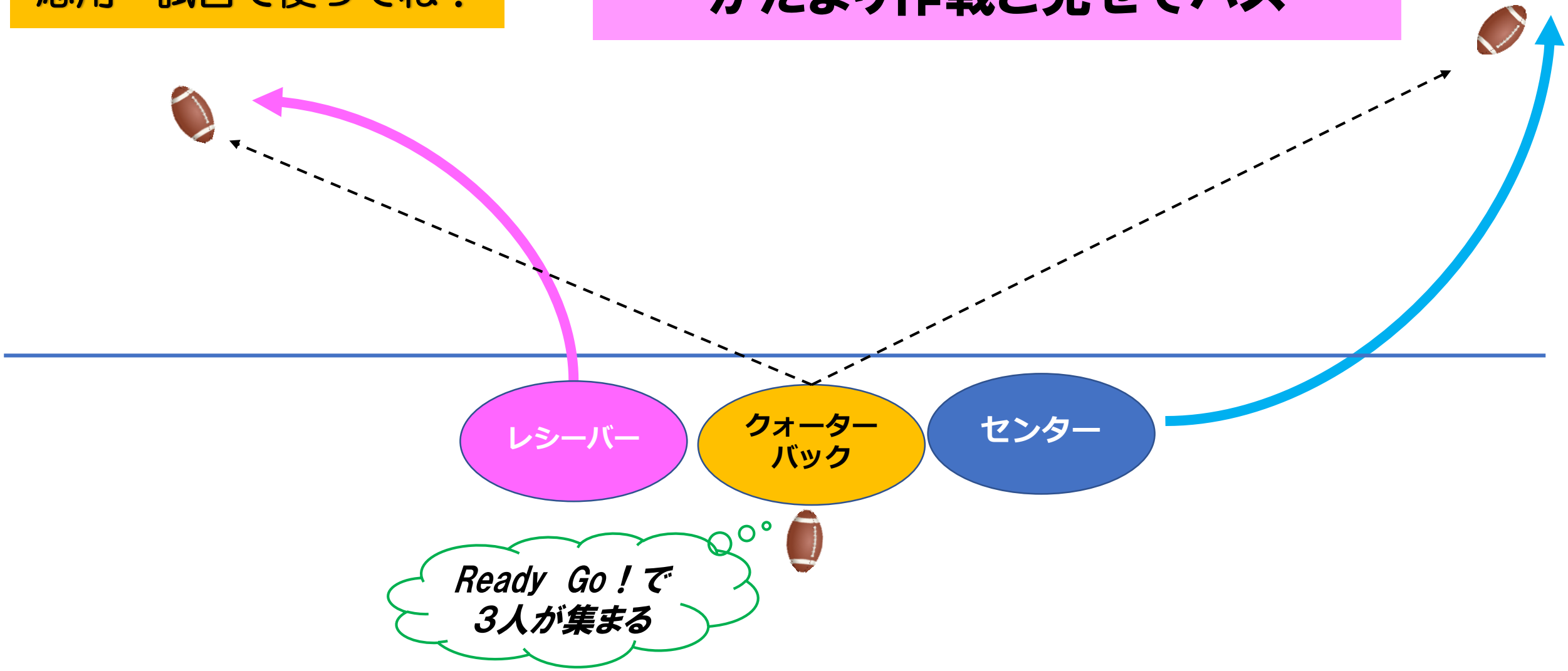
約５分間×２回

かたまり作戦　その2（ボールはお腹にかくす）

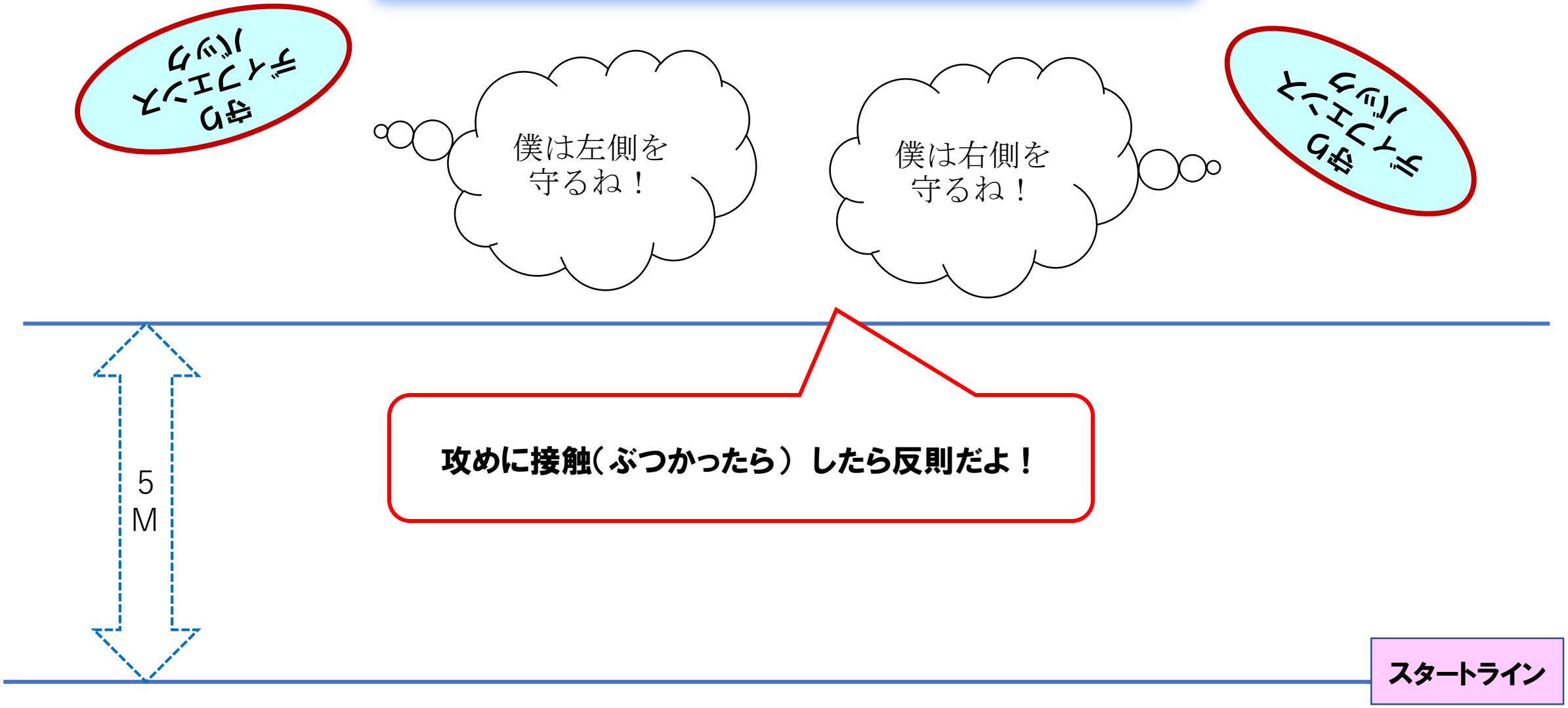


応用・試合で使ってね！

かたまり作戦と見せてパス

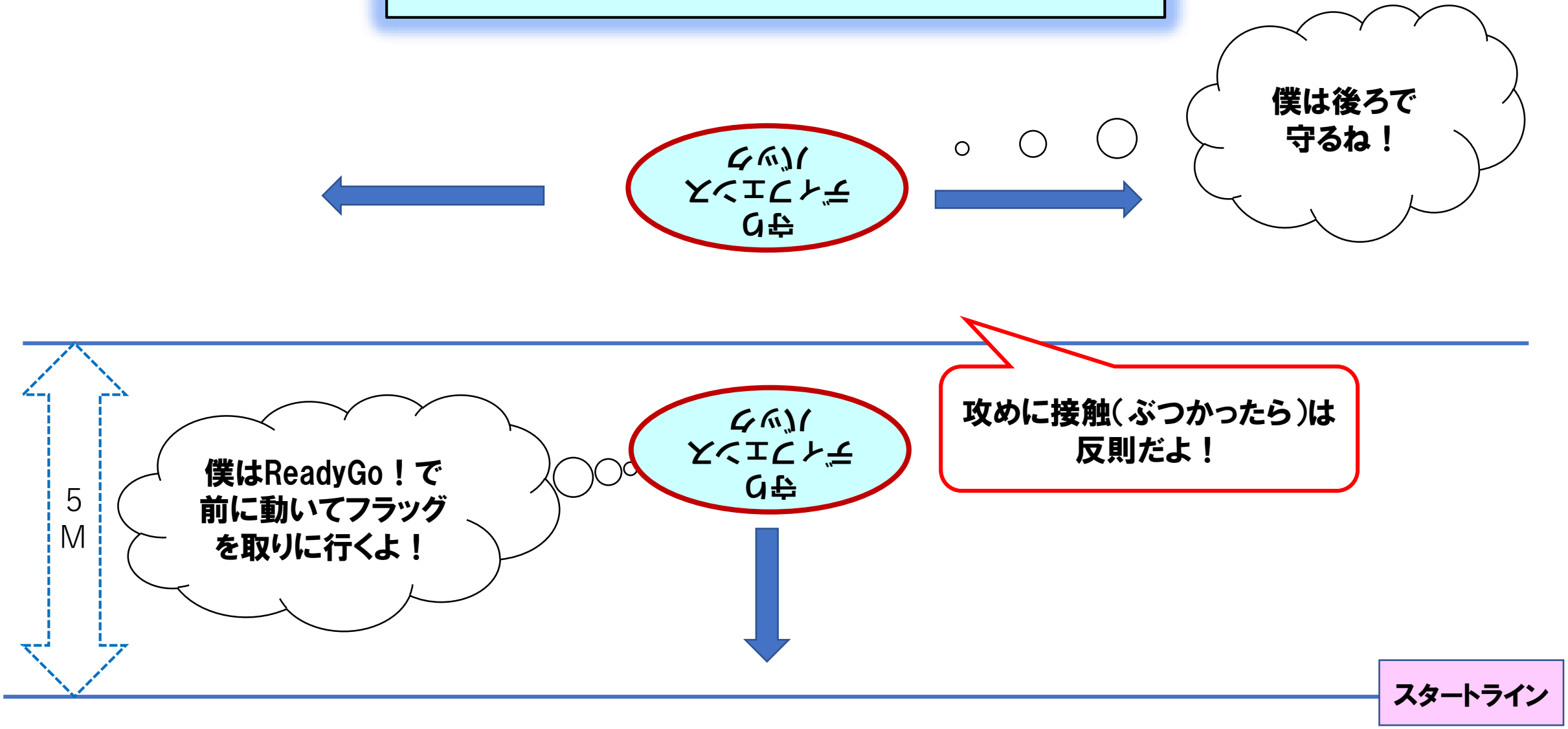


守り（横　作戦）



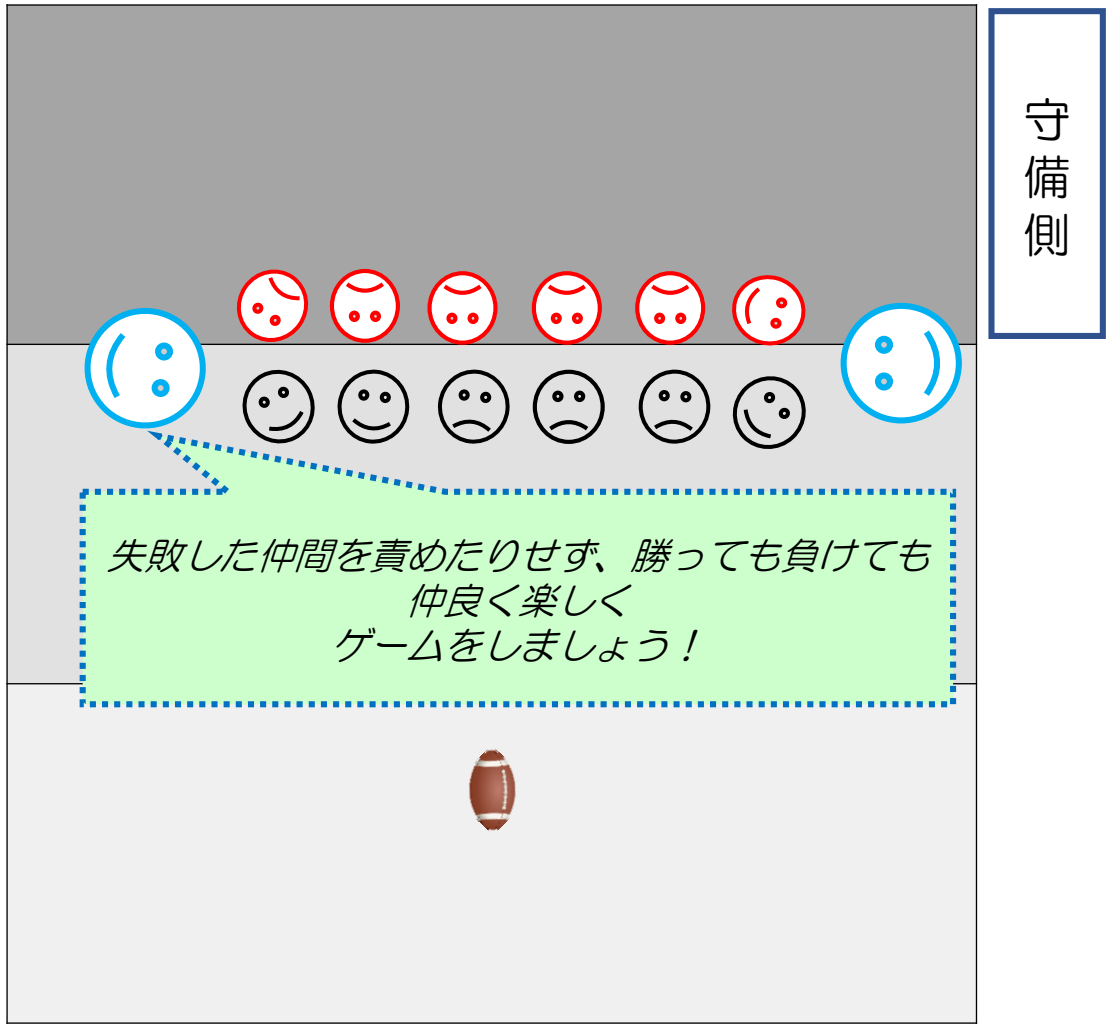
守り
ディフェンス
バック
僕は左側を
守るね！
僕は右側を
守るね！
守り
ディフェンス
バック
5
M
攻めに接触（ぶつかったら）したら反則だよ！
スタートライン

守り（縦　作戦）



僕は後ろで
守るね！
攻めに接触（ぶつかったら）は
反則だよ！
僕はReadyGo！で
前に動いてフラッグ
を取りに行くよ！
5
M
スタートライン

２回目の指導　約１５分間　ゲーム　3・4 年生



では、ゲームをしましょう！

- 勝ち負けの結果にこだわらず、みんなで協力することと話し合って作戦を立てることが大切です
- 体育の授業は「仲良く・楽しく」　です！

●セレモニーを行います
① 向かい合って、挨拶・*握手は しない！（コロナ対策）*
② ジャンケンで先攻/後攻を決める
③ 先攻チームが６回
（回数は残り時間・人数で決める）
メンバーを代えながら攻撃します

●６回攻撃したら攻守交代です
それでは開始　ピピー
あと３回　あと２回　あと１回　　ピピー終了
攻守交代　⇒　それでは６回攻撃します
開始　ピピー　あと３回　あと２回　あと１回
ピピー終了

●では、
対戦相手を代えて、第２試合をしましょう！
※ 残り時間に余裕があれば、第３試合を行う！

○ 授業のまとめ（感想）　　片づけ

約5分間

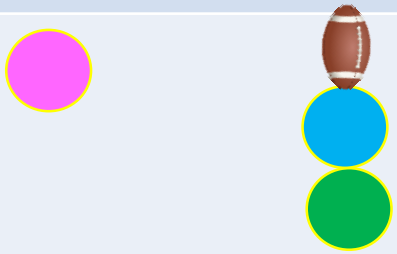
作戦カード

3 点

2 点

1 点

0 点



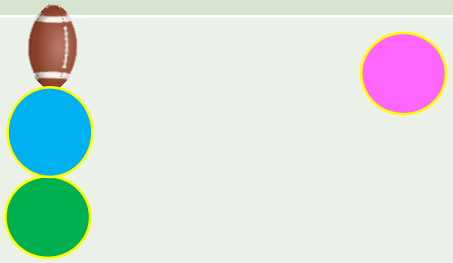
作戦カード

3 点

2 点

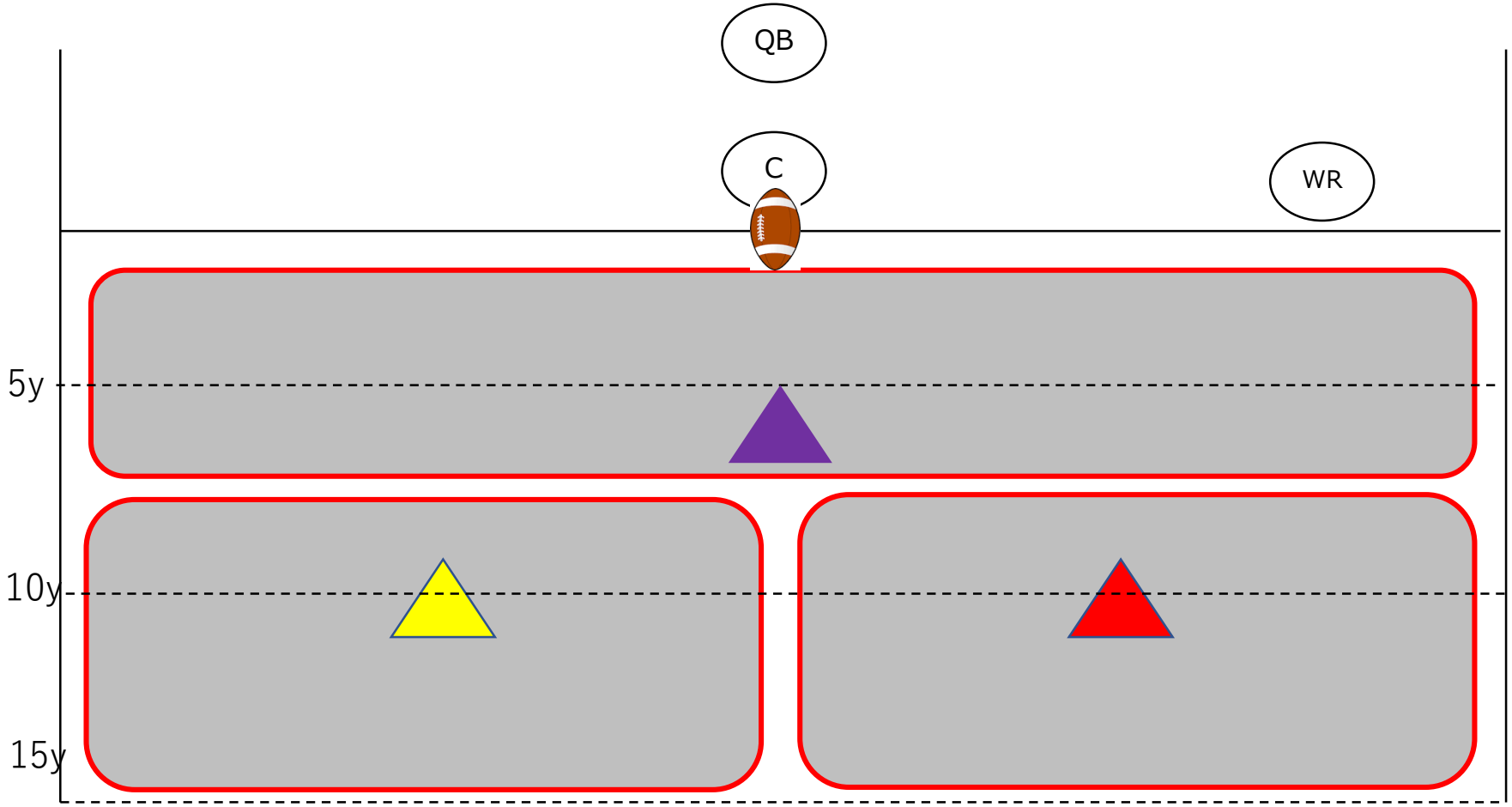
1 点

0 点



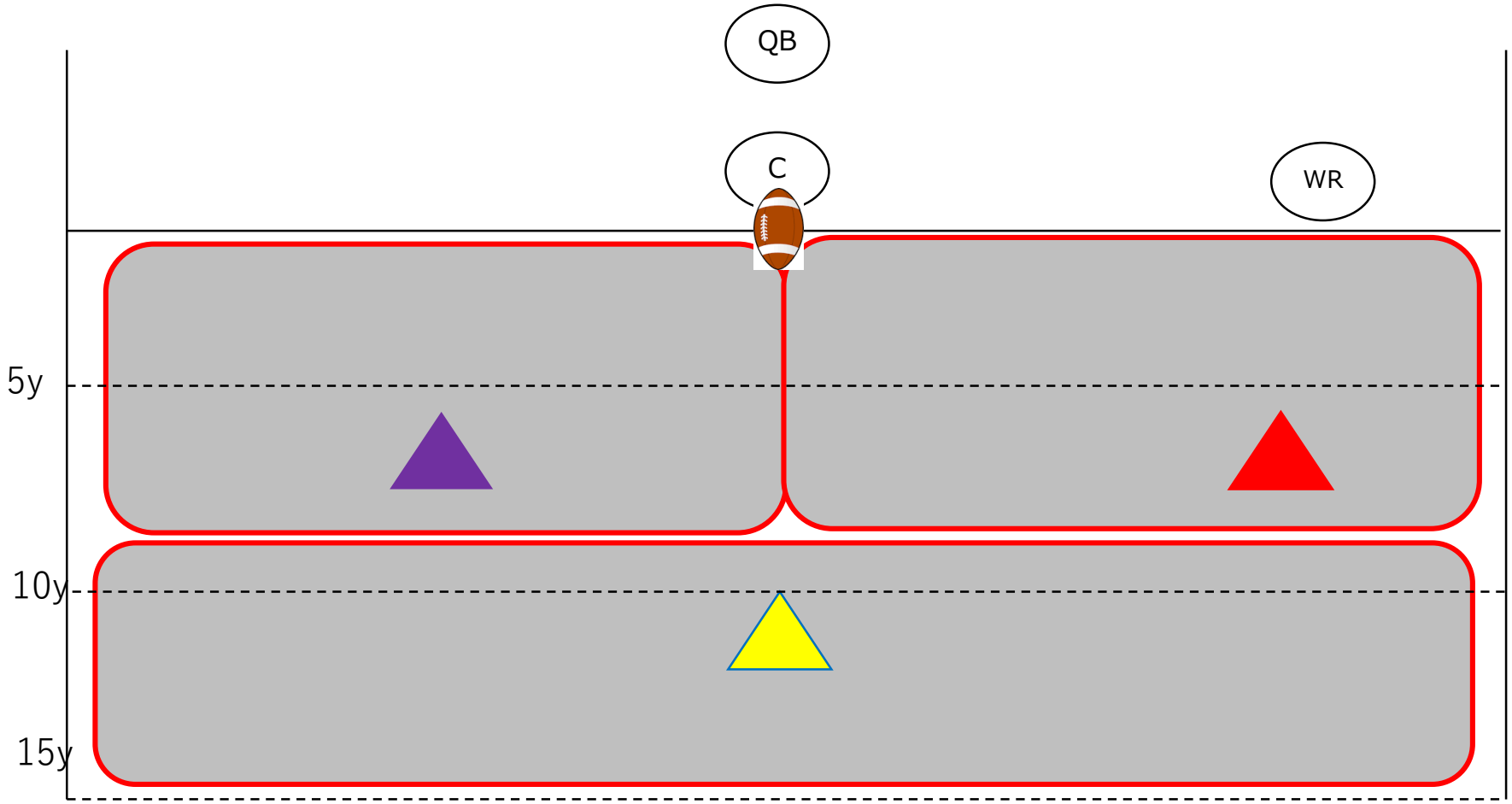
参考資料

守備３人　前1人・後2人のゾーンディフェンス



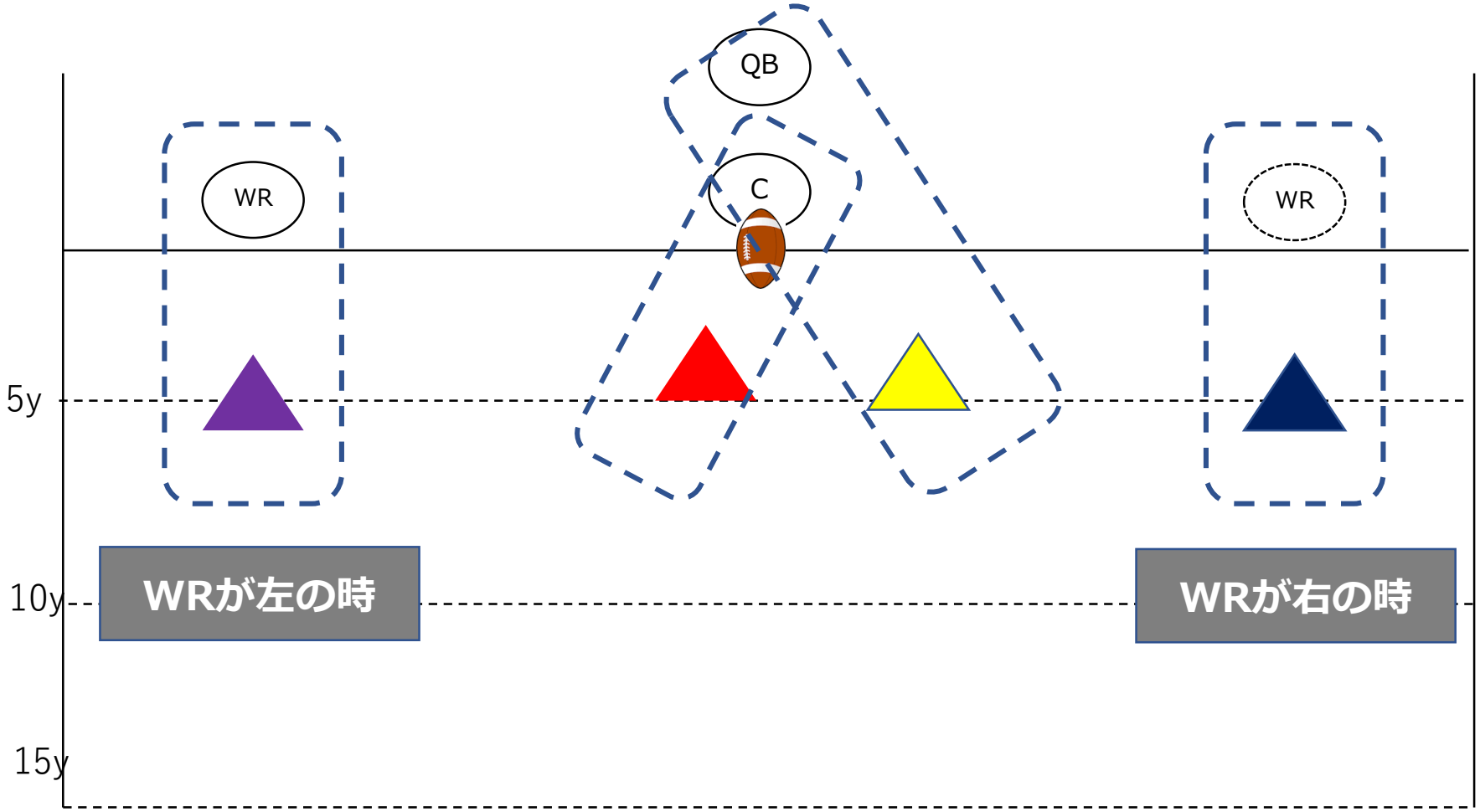
参考資料

守備３人　前2人・後1人のゾーンディフェンス



参考資料

守備３人　マンツーマン



藤子・F・不二雄 ミュージアムカップで会いましょう！

参考資料

学 校 教 育 について

小学校は　2020年　学習指導要領　全面実施

これからの社会が、どんなに変化して**予測困難**になっても、自ら課題を見付け、
自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現して欲しい。
そして、明るい未来を、創って欲しい。

生きる力（学校で学んだことが明日、そして将来につながる）学びの、その先へ

自ら判断し

自ら行動する力

自ら考え

・マニュアル人間
・指示待ち人間
　　をつくらない

生きる力を育むための3本の柱

意欲

学んだことを人生や
社会に生かそうとする

**学びに向かう力、
人間性**など

習得

実際の社会や生活で
生きて働く

基礎的・基本的な
知識 及び 技能

活用

未知の状況にも
対応できる

**思考力、判断力、
表現力**など

言語活動の充実
言葉の力

三つの力をバランスよく　育みます

◎ 学習指導要領

生きる力を育むための楽しい授業

In Put ⇒

主体的・対話的で深い学びを重視した**授業改善**

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」

Out Put ⇒

◎一つ一つの知識が
つながる授業

- わかった！
- できた！
- おもしろい！
- 楽しい

◎共に考え、学び、
新しい発見や
豊かな発想が
生まれる授業

◎見通しを持って、
粘り強く取り組む力
をつける授業

◎自分の学びを振り返り、
次の学びや生活に
生かす力を育む授業

楽しさや喜びと感動する授業

◎ 学習指導要領

インクルーシブル教育
inclusive education

仲間はずれにいない・排除しない

「障害のある子ども達が、健常な子ども達と共に学び、
共に生活して行くことが当たり前」
という社会をつくる

巡回教室に参加

・車椅子使用

・外見では判断がつかない内面的な障害

・日本語がまだ理解できない

・ビジャーブ

川崎市は

多文化共生＝共に生きる

様々な国の方々が住んでいる街